

2026（令和 8）年度入学者選抜試験問題（一般選抜）

小論文試験問題 配点 70 点

次頁以降の【資料①】から【資料③】までを読み、以下の問いすべてに答えなさい。

問 1（配点 20 点）

【資料①】の著者は、「移動」と「帰属」がどのように異なると考えているか。「移動」と「帰属」を区別しない考え方への批判も踏まえて、300 字以内で説明しなさい。

解答は、解答用紙（問 1 用）に横書きで記入すること。

問 2（配点 20 点）

【資料②】によると、アメリカとカナダはいずれも、かつては複数国籍（重国籍）を制限していたが、現在はこれを容認している。両国が複数国籍を容認するに至った経緯・背景から理解される複数国籍の容認に対する態度について、アメリカとカナダにはどのような違いがあるか。500 字以内で説明しなさい。

解答は、解答用紙（問 2 用）に横書きで記入すること。

問 3（配点 30 点）

【資料①】から【資料③】までを踏まえて、(a) 国籍を持っていることにどのような意味を与えるべきであるかと考えるか、また、(b) その考えを前提とする場合、国籍制度はどのようなものであるべきか、1000 字以内で論じなさい。

解答は、解答用紙（問 3 用）に横書きで記入すること。

※【資料①】、【資料②】、【資料③】は、いずれも著作物からの引用である。本文を省略した箇所は《中略》で示したが、見出しや注、ルビの省略はこの限りではない。

※出題の都合上、一部に修正を加えている。

※【資料①】、【資料②】、【資料③】の出典は、試験終了後速やかに大阪大学大学院高等司法研究科のホームページに公表する予定である。